

江南区

緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち



江南区

区の概要

● 地理

江南区は、本市のほぼ中心に位置し、西蒲区以外の全ての区と接しています。信濃川、阿賀野川、小阿賀野川、日本海東北自動車道に囲まれ、亀田、横越、曾野木、大江山、両川の5つの地区で構成されており、豊かな自然環境と都市機能の調和が図られています。

国の登録有形文化財の北方文化博物館や、御衣黄^{ぎょいこう}という緑色の花を咲かせる珍しい桜があることでも有名な北山池公園、スポーツ・文化の拠点である亀田総合運動公園(アスパーク亀田)など、人々が集い、憩いの場となっています。

● 産業

土地改良事業により整備された広大な優良農地では、稲作のほか、なす、梅、梨、いちご、とうもろこしなどの生産による都市近郊型農業が展開されています。(図1)

交通の利便性が高い工業団地、食品団地では製造業が盛んで、大型ショッピングセンターや中央卸売市場は人・物の交流の場として、賑わいを見せています。(図2)

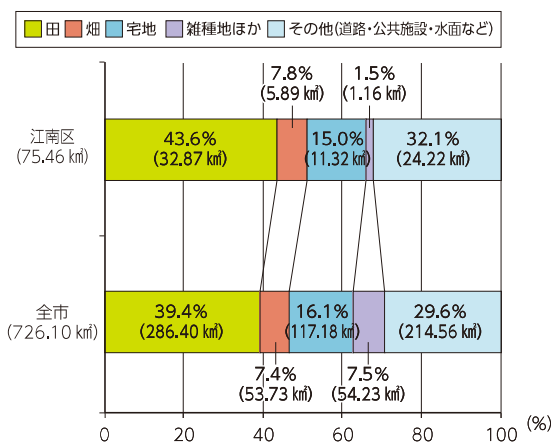
● 交通

主要な道路である、日本海東北自動車道、磐越自動車道をはじめ、国道49号、国道403号、県道などの結節点となっています。

鉄道は、JR信越本線が通っており、1日平均乗車人員が5千人を超えるJR亀田駅があります。

バスは、市中心部や新津方面などを結んで運行されているほか、区バス*・住民バス*が身近な公共交通として利用されています。

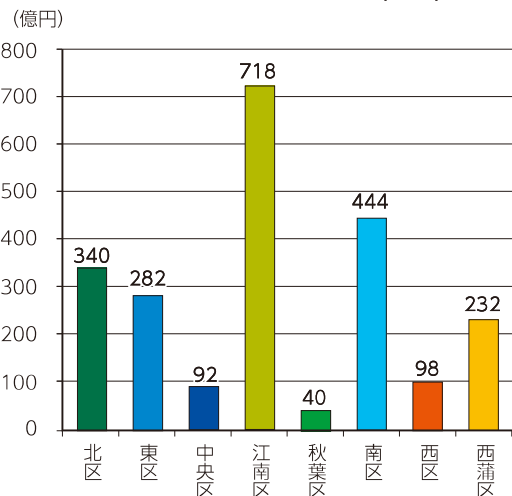
■ 図1 江南区の土地利用割合



江南区の土地利用割合を本市全体と比較すると、田と畑の割合が高くなっています。

資料：新潟市資産評価課調べ(H26.1.1)

■ 図2 食料品製造業出荷額(区別)



江南区の食料品製造業出荷額は718億円で、本市の中で1位となっています。

資料：経済センサスー活動調査(H24)

基本構想

基本計画

1 総論

2 本市を
取り巻く
状況

3 政策
・ 施策

4 区ビジョン
基本方針

附属資料

区の将来像

緑と調和した、賑わいと安らぎのあるまち

目指す区のがた

● 豊かな自然と都市機能の調和が取れたまち

- 主要な道路の結節点やJR信越本線を有する交通の要衝としての利便性を活かして、人と物が交流し誰もがいきいきと快適に生活できるよう、道路や公共交通などの環境整備を進め、都市機能の向上を図ります。
- 緑豊かに広がる田園風景と信濃川、阿賀野川、小阿賀野川を結ぶ水と緑のネットワークづくりやその活用と、資源循環型社会の構築を目指した環境にやさしいまちづくりを推進するなど、自然環境との共生を図り、未来の世代につなげます。

● 人と人とのつながりを大切にす安心安全なまち

- 震災、風水害、津波災害などさまざまな自然災害から区民の生命と財産を守るため、地域の特性を踏まえた災害に強いまちづくりを進めます。
自らの安全は自ら守り、地域の安全は地域で守る交通安全・防犯意識の高い地域社会の実現を目指します。
- 住み慣れた地域で、生涯を健やかに安心して暮らせるまちを目指します。
誰もが気軽に立ち寄れる場や活動の拠点づくりを進めるとともに、「ふれあいと支えあい」を大切にし、人と人とのつながりを感じられるまちを目指します。

● 創造的な産業を育む活力のあるまち

- 地元の多様な農産物を活用することで、農業と商工業の連携による創造的な産業の育成を図り、江南区ならではの個性と魅力あるものづくりを進めるとともに、新たな雇用の創出を目指します。
- 地域が一体となり、そこに培われた風情や歴史など“地域らしさ”を感じさせる、活力と魅力にあふれた賑わいのあるまちなか*を創出し、交流人口*の拡大を目指します。

*区バス…………… 区制導入に伴い区役所への移動など新たに生じる移動ニーズに対応することを目的に、区が運行計画を立案し、交通事業者に委託して運行する乗合バス。

*住民バス…………… バス路線の廃止問題を抱える地区や公共交通空白・不便地域において、地元住民組織が主体となって運営する乗合輸送サービス。

*まちなか…………… まちの中で中心的機能を有する範囲。地域拠点、商業系地域を中心とした旧来からの中心的地区。

*交流人口…………… 地域に訪れる人のこと。定住人口に対する概念。

● 未来に向けて人が輝き文化が育まれるまち

- 将来を担う大切な人材である子どもたちの健やかな成長に向けて、学校と家庭や地域が連携して学・社・民の融合*により、教育力の向上を図ります。
- 先人から受け継がれた歴史や伝統を継承し、多様な文化芸術にふれる機会の創出や市民が気軽にスポーツに親しめる環境づくりなど、さまざまな個性が発揮でき、生涯にわたり人が輝くまちを目指します。

● 区民がまちづくりの主役として輝くまち

- さまざまな地域課題解決に向けて、区自治協議会*、地域コミュニティ協議会*、自治会・町内会などとの協働*をさらに深め、区民が主役となる自治の実現を目指します。
- 江南区サービス憲章に基づき、区民の立場に立って迅速・丁寧な対応を目指すとともに、多様な区民の声を大切にする区役所づくりを進めます。

梅まつり



“旬果旬菜”いきいきフェスタ



*学・社・民の融合… 学校、家庭、地域、社会教育施設、地域の諸団体、企業などが一体となって教育活動を進めること。
 *区自治協議会… 分権型政令市を実現し、市民と市との協働によって市民自治の推進を図るために、地方自治法に基づき各行政区に設置する市長の附属機関。本市の政令指定都市移行と同時に、8つの区に設置した。
 *地域コミュニティ協議会… 市民と市が協働して地域のまちづくりや、その他の諸課題に取り組み、市民自治の推進を図るため、概ね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心にさまざまな団体等で構成された組織。
 *協働… 市民と行政が、対等な関係で相互の立場や特性を理解し、目的を共有し、連携・協力すること。